

アジア共通歴史学習の可能性 「日本型教育の二つの流れ」



社会科教育講座
教授 土屋 武志

私の研究室に留学してきた20名を超えるアジア各地からの留学生は、皆「自国の歴史教育を変えたい」と言います。自国の歴史教育は「暗記学習」で自分で考えることが出来ないからだ。発展のためには「考えること」が必要で、その教育モデルが日本にあると言うのです。私の専門は歴史教育です。20年間留学生との対話の中で考えてきた、アジアの人々と共有する歴史学習論を紹介し、ご意見を賜りたいと思います。さらに外国にルーツを持つ子どもたちが増えていくこれからの教育を「暗記学習」と異なる視点から考えてみたいと思います。

日 時

令和3年 2月 16日(火)
17:30~19:15

参加無料
申込不要

会 場

愛知教育大学 次世代教育イノベーション棟

対 象

本学教職員、学生、一般（高校生以上）

講 師

社会科教育講座 教授
土屋 武志 TSUCHIYA Takeshi

●講師プロフィール

上越教育大学教育学研究科修了。博士（学校教育）。長崎県等の中学校や高等学校で教員を務めた後、1994年に長崎県教育センター研修指導員を経て、1995年本学に助教授として赴任。2006年より現職。専門は歴史教育学。

お茶とお菓子を用意して
お待ちしております



CHOCOLATE



国立大学法人

愛知教育大学

AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

◆お問い合わせ先◆ 愛知教育大学 広報課 刈谷市井ヶ谷町広沢 1 ☎0566-26-2738

※感染症対策のため、施設の収容人数の半分の定員で開催します。参加の際はマスクの着用にご協力ください。